



オリーブ通信

2017年
1月号
2017.1.21発行
第183号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>



新年の挨拶

明けましておめでとうございます。

いつもオリーブの活動を支えてくださりありがとうございます。



(代表 恩地美和)

昨年、KIFA から文化庁助成事業の再委託を受け、いつももまして皆さんにご協力を仰ぎました。おかげさまで初級クラス中上級クラスに加え、日本語を使うことに焦点をあてたバス旅行「自然の中でオノマトペ」、地元について語り合う「ジモトーク」などのイベントも成功裏に終わらせることができました。学習者も増え、大変なこともあります。笑顔が絶えないオリーブは私たちの活力の素でもあります。今年もご協力よろしくお祈りいたします。

最後になりましたが皆様のご多幸をお祈り申し上げます。(恩地 美和)



皆さま、明けましておめでとうございます。

さて昨年、日本を訪れた外国人観光客はついに2,000万人を突破し、日本への関心が年々高まっていることを示しているようです。

私たちもボランティアとして日本語だけでなく日本語を通じて日本の魅力を伝えられるような活動をしていきたいと考えます。

今年も引き続き皆様のご協力をよろしくお祈りいたします。(豊村 信良)



(会長 豊村信良)

中川先生のへんてこ日本語

78

なんだろう

若い人を中心に、話の節々に「なんだろう」を入れることが多いように感じる。「時間について調べてみたのですが、なんだろう、バスの場合 は・・・」「この問題についているんな人に聞いてみたのですが、やっぱり、なんだろう・・・」という具合に。これは何か？

これまでも話してきたファイラーのひとつだと考えられる。つまり、次の言葉を探していると考えてよい。「あなたは、えっと、田中さんでしたよね」や「あのー、京都駅へ行きたいのですが」などの「えっと」や「あのー」などと同じ機能を果たしている。しかし「えっと」や「あのー」が相手との「間(ま)」を取り、相手との距離を確認しながら会話を進めるという機能を持っているのに対して、「なんだろう」には、そんな「間」の機能は感じられず、ただ言葉が出てこないという哀れな状況を露呈しているにすぎない。

ファイラーは、かつては「言い淀み」と呼ばれ、まさに言葉が出てこずに「言い淀んでいる」ことを意味していたのだが、近年は、ファイラーにも機能があり、会話の一部だとして、談話研究の中で扱われるようになってきた。連綿と話すのではなく、ポーズを置きながら、自分にも相手にも「間」を与えて、距離を確認しながら会話を進めていくところに日本語の特質がある。

ところがファイラーがあまりにも多くなると、発話に信頼性が失われ、人物評価も下がってしまう。

「なんだろう」にはどうも、相手に間を与えるというより、なんだろう、「じれったさ」を与えているような気がする。



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

2017年

先生たちに聞きました...今年の抱負は???



仕事は早く片づける。(吉田)

いよいよ後期高齢者、元気でオリーブに参加できるように、サーキット・トレーニングを続け、筋力アップに努めます。(田中一美)



楽しく生活、楽しく勉強(杉山)



授業は楽しく、そして一歩ずつでも前進を。(永井)

学習者に寄り添った活動をしたいです。(内田)

今年は運氣UPできるように疲れていても笑顔が心げます。(小春)



古本屋めぐりをして、ついでに美味しいものを食べて日本を味わう。(佐野) Discover Japan☆

たくさんの生徒さんとたくさん話をしたいです。(中川)

楽しい授業とおいしいお菓子(福井)



多方面にわたり楽しく一生懸命やります。(内田)

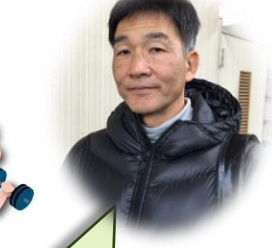


我顔愛語(鈴木)



皆さんの若さとパワーに負けないように頑張ります。異文化の交流をもっともっと進められたら...と思います。(中西)

熱中できる趣味の技術をUPさせるため、コツコツをモットーに頑張りたいです。(後藤)



体力の向上(杉山)

活動の原動力となっている好奇心を持ち続けること。(豊村)



ダイエットする!(熊川)



筋肉増強 タカの渡りを見る。(恩地)



楽しく、長続きするような授業を目指します。(田中三千彦)



楽しくかつきびしく学習できる授業づくりを目指します。(津田)



ジモトーク開催!!!

「オリーブ」と「Discovery Café」(KIFA 多文化共生部会)が主催で、外国人と日本人の交流会「ジモトーク」を12月18日に開催しました!

副題は「あなたの地元、わたしの地元」。自分の故郷について語り合い、お互いの文化や慣習を知って交流や理解を深めるイベントです。

参加者は約50人。外国人と日本人が半分ずつくらいで、ベトナム・インドネシア・中国・フィリピン・韓国の方が来ていただきました。

最初の企画は、話題提供として8人(外国人5人、日本人3人)の方による自分の地元の「おすすめの場所」「おすすめのイベント」「おいしい食べ物」についての発表です。発表のミソは国名だけでなく、地域の名前まで言うこと。同じ国でも地域によって食べ物も習慣も違います。地元民だからこそ知っている“その土地ならではの”のディープな情報は、聞いていてワクワクしました。

続いて班に分かれての歓談。地図を見ながら「出身地はどこにあるの?」「気候は?」「おいしい食べ物は?」など、いろんな話を聞くことができました。

わたしの班ではそれぞれの地域のタクシーの話になりました。ベトナムの北部から来た人の町では道の幅が狭く車はとても渋滞しているので、タクシーといえば「バイクタクシー」なのだそうです。大人2人・子ども1人が乗れる、幅が広めのものだとか。また、中国の南部から来た人の町では道が昔より広くなったので、車のタクシーが主流になったそうです。

最後は班対抗「世界ものしりクイズ」です。「ビーチサンダルのことをペルーでは何と呼ぶでしょう?」や「世界で人口が4番目に多い国は?」「約80年前、まちづくりセンターの場所には何があったでしょう?」など、お馴染みのものからローカルなものまで様々な3択問題が出されました。班のみんなで悩みながら答えを導いていくと一体感も生まれますし、正解した時の嬉しさもひとしおです。

外国人と日本人、同じ町・近隣の町に住んでいても、日常生活では関わりの持てる機会もなかなかありません。こういった交流会があればこそ、顔の見える関係づくりのきっかけが生まれるのかもしれない。

クイズの答え

- ※ビーチサンダル→「サヨナラ」
- ※人口が4番目の国→「インドネシア」
- ※まちづくりセンターの場所→「競馬場」

(ジモトーク発表者)

- 吉田 瑛美さん (日本)
- 清田 真弓さん (日本)
- 服部 紀子さん (日本)
- 文 冲さん (中国)
- 池戸 ケネスさん (フィリピン)
- 近藤 梅さん (中国)
- ヘンドリ ムスリヒンさん (インドネシア)
- グエン・チー・ティンさん (ベトナム)



(レポート 後藤 美子)



(参加者全員)



先月の活動 (12月)

日本語教室	12/3(M), 10,17(3回)
ジモトーク会議	12/10 (土) (恩地・豊村・小春・吉田・杉山・KIFA)
KIFA たぶんカフェファイナル会議	12/24 (土) (恩地)
BNN 運営会議	12/23 (金) (佐野)
まちセン運営会議全体会	12/13 (火) (田中一)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング



今月の活動予定 (1月)

日本語教室	1/7(M), 14,21,28 (4回)
KIFA たぶんカフェファイナル	1/15 (日) (恩地)
KIFA 広報部会	1/17 (火) (恩地)
BNN 運営会議	1/22 (日) (佐野)
まちセン施設部会	1/12 (木) (田中一)

●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



参加人数(12月)

	12/3	12/10	12/17
先生	27人	23人	24人
生徒	18人	20人	20人



会員の動き(12月)

(入会)	津田幸子さん	12/10	入会
(休会)(退会)	なし		
(賛助会員)	井上工業(株)	12/17	入会

お知らせ 1

つたえたい、私のおもい

第13回

びわこ日本語ネットワーク (BNN)
外国人による日本語スピーチ大会
オープニングセレモニー
二胡演奏・・・二胡っ娘

第1部

外国人による日本語スピーチ大会
ブラジルのサンバダンス
コレジオサンタナ学園

第2部

交流会

日時:2017年2月19日「日」12:40~16:30

場所:能登川コミュニティセンターホール
(東近江市鉢光寺町 262)

入場無料

主催:びわこ日本語ネットワーク (BNN)

問い合わせ先:びわこ日本語ネットワーク事務局

[TEL:077-523-1061](tel:077-523-1061)

e-mail:bnn.biwako@gmail.com

お知らせ 2

食べる 遊べる 学べる 多文化子ども食堂

日時:2017年1月28日(土)

11:00~14:00

今回は中国料理

参加費:大人300円・中学生以下100円

場所:SHIPS 多文化共生支援センター3階

草津市草津1丁目12-13

申込先:SHIPS(喜久川)

[TEL:077-561-5110](tel:077-561-5110)

滋賀県社会福祉協議会

「滋賀の縁創造実践センター」助成事業



(津田幸子さん)

教える事が初心者ですので
よろしくご指導お願いします。

オリーブでがんばってる学習者紹介その①



皆さん、おはようございます。

私はベトナムのトゥンと申します。

日本に来て1年が経ちました。国での
仕事が余り良くなかったため、お金を
目的として日本に来ました。日本に来る
前に6ヶ月ぐらい日本語を勉強しなければ
なりません。それ以前、日本語の勉強を考えた
ことがありません。毎日頑張って勉強したのにあまり進
まなくて寂しかったです。やめようと思ってたけど家族
のために頑張り続けることにしました。

みなさん、日本語はどうですか?私にとって本当に難
しいですよ。でも日本に来たおかげで前より日本語が早
く上手になるようになりました。なぜなら毎日職場で仕
事をやりながら、休憩のとき仲間とよくしゃべっていま
す。そして毎週土曜日オリーブへ日本語を勉強しに来て
います。内田先生や他の先生たちに、優しく熱心に教え
ていただきとても感謝しています。日本語を勉強するよ
うになって、外国人とも友達になりました。勉強すれば
するほど好きになって楽しくなりました。そして7月の
試験で、N3を取ってとてもうれしかったです。これか
らN2を目指して頑張りたいと思います。皆さんよろし
くお願いします。(ゲン ヴァン トゥン)



編集後記

干し柿にすべく一生懸命剥いた渋柿約50個。今年は毎日鳥
たちが食べに来て気が付けば残りわずかに...今までは見向き
もしなかったのに彼らの食料がいかにか減ってきてるかを物語
っているような。それでも何とか10個だけは確保した(E.S.)